

君津中央病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	75 歳以上 Stage1A 胃癌切除症例の予後規定因子の検討 (研究倫理委員会承認番号：702)
当院の研究責任者 (所属)	外科 柳澤真司
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	高齢者胃切除においては手術が予後に寄与せず再発以外の原因により死亡する症例も見られる。Stage I A 胃癌症例は手術のみで根治が得られると考えられ、再発以外の予後と関連する因子を明らかにする。
調査データの 該当期間	2005 年 1 月～2017 年 11 月
研究の方法 (対象となる方)	上記期間に胃切除を施行した Stage1A 症例のうち、予後不明例を除き、下記指標が比較可能なもの
研究の方法 (使用する情報)	指標として年齢、性別、組織型、壁深達度、術式、PS(ASA)、術前併存疾患数、術後合併症の有無、Body Mass Index(BMI)、血清アルブミン値(Alb)、リンパ球数、小野寺らの prognostic nutritional index(PNI)、好中球/リンパ球比(NLR)、血小板/リンパ球比(PLR)を使用。5 年生存群と 5 年以内死亡群の比較検討を行った。
資料・情報の他機関 への提供	なし
個人情報の取扱い	匿名化している。
本研究の資金源 (利益相反)	なし
お問い合わせ先	君津中央病院 外科 柳澤真司
備考	